

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

令和5年 10月15日 NO.68

発行責任者：橋迫芳隆



神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

9月定例会

令和4年度決算

神石高原町立病院建設完了

自主財源のウエイト高まる

166億9823万円の歳出決算

9月定例会は、5日から26日まで開かれました。令和4年度の決算数値は、表のとおりです。

歳出総額は、166億9822、6万円で昨年度の決算と比べて、30億3516、4万円(▲15、4%)の減となりました。

一般会計(▲8、6%)特別会計(▲2、3%)病院事業会計(▲74、4%)の減となっています。全体としては、新病院の建設完了が減の大きな要因です。

経常収支比率が78.3%(+4.9%)、**実質公債費比率**が6%(+0.4%)となるなど少し気に懸ります。

地方債(借金)の令和4年度末現在高は、約121億円(合併時は220億円)で昨年度より5億円弱の減となりました。要因は庁舎・病院建設や災害復旧の関係によりですが、今後は増加が見込まれ、可能な限り町債の発行を抑制し健全な財政運用を行うことが必要です。

基金残高(定期預金)の総額は111億9千万円余りと昨年より5億9千万円程度増加しています。財政調整基金残高は55億6千万円で3億円の増。

決算統計では地方債、基金残高と財政改善されていますが、本町の宿命、財政力指数は0.201と

区分	H20年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
基準財政需要額	53億4411	55億7026	58億1746	61億2080	60億8335
標準財政規模	69億4615	60億5555	62億4628	65億9148	63億9419
財政力指数	0.240	0.208	0.209	0.205	0.201
経常収支比率	92.1%	82.2%	77.4%	73.4%	78.3%
公債費負担比率	20.5%	16.7%	14.9%	14.4%	15.9%
実質公債費比率	21.9%	6.3%	5.7%	5.6%	6.0%
地方債現在高	157億6361	122億4572	124億3338	126億2605	121億4517
基金残高	32億2380	102億4579	106億1014	108億1693	111億9461

低下傾向にありなお一層の効率的健全な財政運営が求められます。

一般会計 歳入合計は、前年度対比では、16億4695万円の減(▲11.3%)となりました。

依存財源のウエイトが70.5%(▲17.7%)

会計名	令和4年度会計別収支表			翌年度繰越財源	単位: 万円	差引残額
	予算現額	歳入決算額	歳出決算額			
一般会計	136億3712	129億6850	123億3055	6611	5億7184	
国民健康保険	10億4422	10億1929	9億8180		3749	
後期高齢者医療	3億6231	3億6277	3億6118		159	
介護保険	20億0841	19億2155	18億7355		4800	
簡易水道事業	4億2499	3億4724	2億5561		9164	
飲料水供給施設事業	4605	4552	3863		689	
農業集落排水事業	2億5800	2億5767	2億4110	125	1532	
総合開発事業	330	314	314			
分収育林事業	10	6	6			
計	41億4739	39億5723	37億5506	125	2億0092	
企業会計	6億8377	5億7029	6億1262		▲4233	
病院事業会計						
合計	184億6828	174億9602	166億9823	6736	7億3044	

となり自主財源が3億1730万円増えています。(※表参照)

地方交付税は普通交付税が48億7867万円、特別交付税も4081万円減少し4億5450万円となっています。

歳出では**義務的経費**の人員費が2900万程度

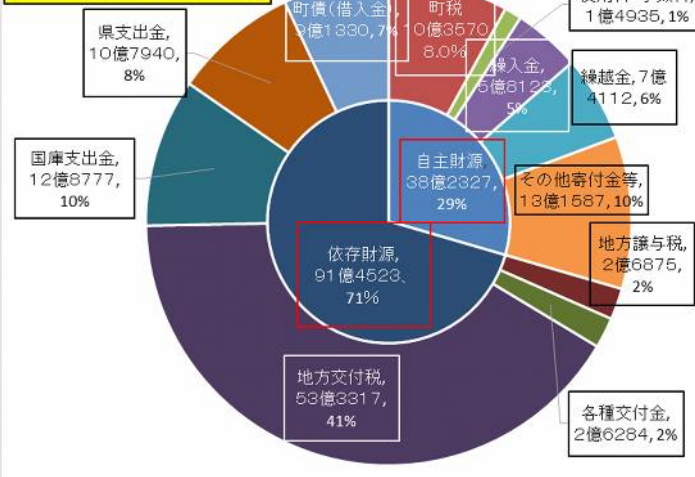
の増(職員数267人での増(15人増)、公債費3798万円増)。

投資的経費は32.6%減、15億の建設事業の内単独事業は10億。

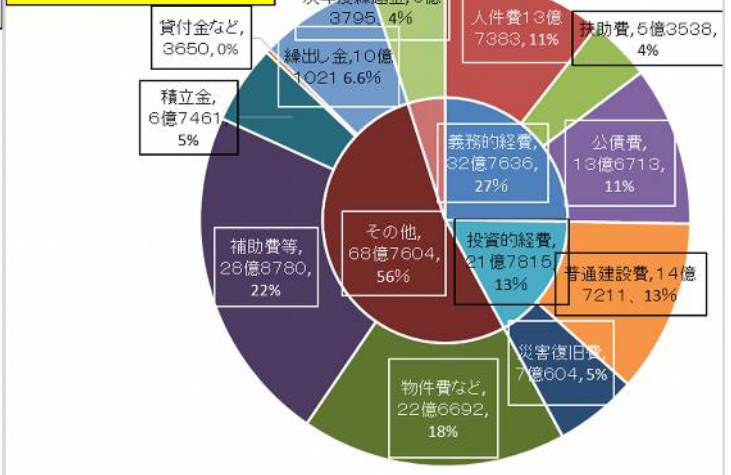
その他経費は積立金の増(1億4千万)を、物件費・補助費が庁舎建設、コロナ関連で減となりトータルで若干の減。

平成4年度一般会計歳入歳出表

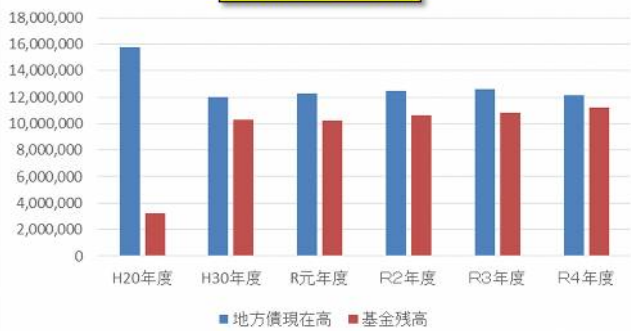
歳入129億6850万円



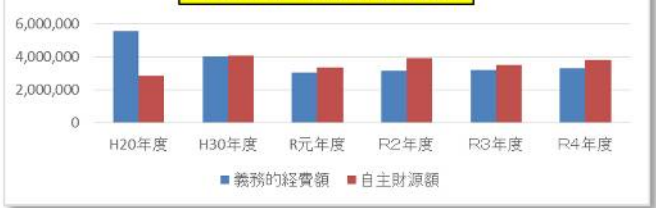
歳出129億6850万円



地方債・基金残高



自主財源・義務的経費比率



なにがどうなる

条例改正など

<工事請負契約の締結>

○消防ポンプ自動車(三和2分団2部)

金額 2,359.5万円

請負者 (有)三和オートサービス

納期 ~R6.6.30

○架装トラック1.35t 3台(三和共同調理場)

金額 2,199.8万円

請負者 (有)神石ミニカ

納期 ~R6.7.31

<工事請負契約の変更>

○神石小学校体育館改修工事

金額 7,157.7万円←6,580万円

請負者 (株)道下工務店

納期 ~R5.12.28

<条例の一部改正>

○町長議会議員選挙運動公費負担条例の一部改正

・選挙用自動車	借入(1日当たり)	16,100円
	燃料費(//)	7,700円
・選挙用ビラ	ビラ(1枚 //)	7円73銭
・選挙用ホスター	印刷費(//)	541円31銭
	企画費	105,417円

○公の施設の指定管理者の指定

施設の名称	指定管理者	指定期間	指定管理料
くるみ保育所	社会福祉法人	R6.4.1~	58,000,000 円 /年間
	東城有栖会	R11.3.31	
神石高原 町立病院	社会医療法人	R6.4.1~	-
	社団陽生会	R11.3.31	

○人権擁護委員の候補者の推薦

氏名	住所	任期	新再
平本 清人	上 2703-3	法務大臣依囑日 から3年	再任

○来見財産区管理委員選任の同意

氏名	住所	任期	新再
藤井 敬太	井関 2291	R5.10.15 ~R9.10.14	再任
向 靖弘	時安 684	同上	再任
藤井 鉄男	井関 2157	同上	再任
福本 正志	坂瀬川 628	同上	再任
川上 廣蔵	井関 355	同上	再任
小林 勝行	井関 5479-10	同上	新任
山本 尚良	時安 3410	同上	新任

令和5年度予算会計別総括表					
単位:万円(四捨五入)					
会計名	R5年度			摘要	
	当初予算額	6月補正	6月補正後予算		
一般会計	120億2000	2億7423	123億5137		
特別会計	国民健康保険	9億3850	610	9億4460	財政調整基金積立857
	後期高齢者医療	3億8790	205	3億8,995	広域連合納付金12、繰出金147
	介護保険	18億6790	5121	19億1,911	基金積立3070
	内訳				
	保険事業勘定	18億5100	5121	19億0,221	基金積立3070
	介護サービス事業勘定	1690		1,690	
	飲料水供設事業	4170	200	4,370	施設維持344
	農業集落排水事業	2億1780	620	2億2,400	施設維持620
	分収育林事業				
	総合開発事	1320		1,320	
特別会計計	34億6700	6755	35億3,455		
病院事業会計	4億9379	1193	5億0,572		
内訳					
資本的支出	3138				
収益的支出	4億6241	1193			
合計	159億8079	3億5372	163億9165		
特別会計+病院事業会計	39億6079		40億4,027		

9月補正

令和5年度道路橋梁災害復旧事業
トータルで2億1650万円
 国庫補助対象額 1億9200万円、
 国庫補助以外復旧分 2450万円
 (単独災害復旧債)

令和4年度分政策医療交付金
清算返還金 2269万円
 令和4年度分の政策医療交付金は、1億9230万円となり9月補正で2269万円が返還され、保健医療福祉支援基金に積み立てられました。

町道維持補修経費
4200万円

9月補正にて追加される道路維持補修経費4200万円のうち2000万円は4地区のスクールバス沿線支障木の伐採に充てられます。



令和5年9月一般会計補正予算			
(単位:万円)四捨五入			
費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	23	8158	職員手当
総務費	1857	25億8711	財務システム251、庁舎管理260、コミュニティ施設管理282、国民保護148
民生費	1860	27億0178	障害者自立支援450、児童福祉費477、子育て支援給付140、保育所163
衛生費	▲2030	18億0756	病院事業会計補助▲1978
農林水産費	163	10億0113	トマト団地224、畜産施設266、基盤整備300、農道維持935、地籍調査▲3214
商工費	1230	1億9776	スコラ高原911、帝釈峡200
土木費	5717	8億1516	町道維持4200、国県道整備334、道路維持140、河川維持(浚渫)1000
消防費	121	4億4148	屯所83
教育費	166	11億0136	中学校60、体育館99
災害復旧費	2億7328	3億2051	現年農地施設復旧5678、現年道路橋梁復旧2億1650、
公債費	0	12億8472	
諸支出金	5354	3億8911	保健医療福祉支援基金2269、かがやきネット運営基金462、森林経営推進基金2623
予備費		4000	
合計	4億1789	127億6926	(主な歳入)国庫支出金1億2462、県支出金1859、IRU契約収入462、企業版ふるさと納税400、基金繰り入れ719、繰越金242、過疎債700、災害復旧債9320

令和5年度「全国学力テスト」

本年度の全国学力・学習状況調査は、小学校6学年においては国語及び算数、中学校3学年は国語、数学及び英語において本年4月に実施されました。毎年結果と対策について9月定例会にて質問してきましたが、本年は都合により出来ませんでしたので、同僚議員の質問から政宗教育長の答弁を紹介します。

- ・各科目・教科の分析を行い課題の把握に取り組む中
- ・更なる授業改善が必要
- ・情報関係の理解と活用の指導、思考力の向上
- ・英語では、聞く・読む・話すことを意識した授業
- ・教育指導の充実、学習状況の改善等に取り組む

令和5年度全国学力テスト公表正答率														
小学校国語			小学校算数			中学校国語			中学校数学			中学英語		
1	秋田	72	1	東京	67	1	秋田	74	1	石川	56	1	東京	52
	石川			石川		2	石川	73	2	福井	55	2	神奈川	50
3	福井	70	3	福井	66		福井		3	東京ほか3	54		愛知	
	神石高原町	70	4	秋田・京都・高知	65	4	東京	72	7	岐阜・香川	53	4	石川	49
6	岩手・東京・富山・高知・広島	69	8	大分	64	13	広島ほか11	70	9	兵庫ほか7	52	5	福井	48
			9	広島	64	32	高知ほか9	68	24	愛媛ほか10	50	28	山梨ほか3	43
			46	島根	59		神石高原町	68	34	広島ほか6	49	47	沖縄	36
11	埼玉	60		神石高原町	59	40	大阪ほか3	68		神石高原町	44		神石高原町	33
			47	沖縄	58				47	沖縄	42			
	全国(公立)	67.2		全国(公立)	62.5		全国(公立)	69.8		全国(公立)	51.0		全国(公立)	45.6
6	広島県	69	9	広島県	64	13	広島県	70	28	広島県	49	28	広島県	43

令和4年度分第三セクター 営業報告をします

神石高原地域創造チャレンジ基金(B/S) (R5.3.31)

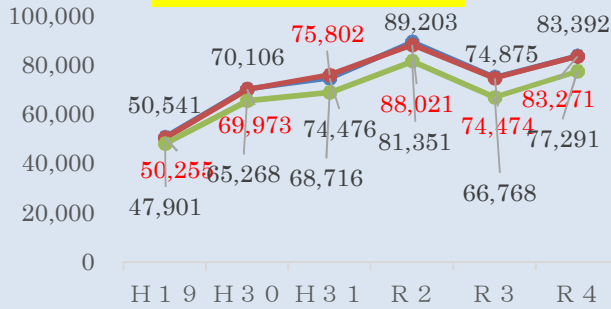
現金預金(一般)	1,089,982	未払金	1,026,496
未収入金	2,506,300		
仮払金	26,870		
現金預金(特定)	16,229,738	預り金	63,486
投資有価証券		長期借入金	90,000,000
<投資株式>			
1社	20,000,000		
<私募債>		正味財産	
	713,000,000		
8社		正味財産(一般)	3,000,000
		正味財産(指定)	17,062,908
合計	111,152,890	合計	111,152,890

令和4年度第3セクター販売高

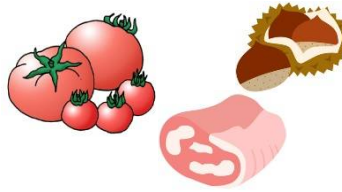
単位:万円(四捨五入)

会社名	売上	税引前当期損益	町補助委託金
㈱神石高原農業公社	5,999万円	54万円	1,050万円
㈱帝釈峽スコラ	6,365万円	▲102万円	2,174万円
㈲さんわ182ステーション	6億4,927万円	169万円	2,393万円

第3セクター合計



*表の見方 単位:万円
上段の数値(青):総収入
下段の数値(赤):総費用
最下段の数値(緑):売上高

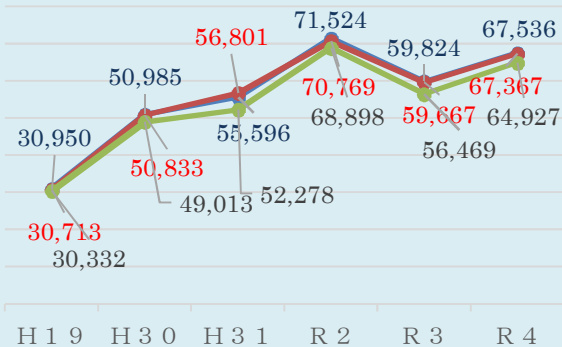


さんわ182ステーション 売上明細表

単位:万円

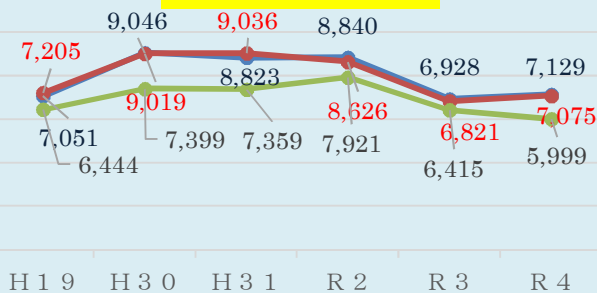
	R4売上高
市場売上高	4億0,484
フードコート売上高	2,910
自販機売上高	433
その他売上高	164
ローソン売上高	2億0,611
加工品売上高	325
合計	6億4,927

㈲さんわ182ステーション



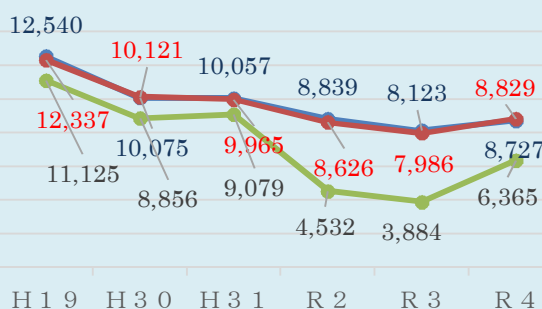
- ・設立、役員については変更なし。株主は逝去により1名減。
- ・決算状況は、当期純利益、繰越利益剰余金ともに黒字決算。
- ・総売上高は、前年対比114%、額で8,458万円の増。
- ・来客数も、46万9,944人と、前年比7万1千人余りの増。
- ・油木百彩館の閉店を決定し、経営のスリム化を図った。
- ・ローソンの売上高は、前年比4,900万円あまりの131.2%増
- ・売上高から売上原価・販売管理費を差し引いた、当期の営業損失は、1,166万8千円となったが、損失額は昨年より774万円の減額となっている。
- ・町補助金や国のコロナ支援給付金などの営業外収益により、当期末の利益剰余金は、2,231万3千円の黒字決算となっている。

㈱神石高原公社



- ・株式総数、町保有株数、株式額面、株式相学の変更はなし。
- ・役員は、取締役2名が辞任、新たに2名選任。後任が代表取締役に就任(瀬尾明彦氏)。
- ・当期は、純利益・繰越利益剰余金ともに黒字決算となった。
- ・作業実施面積は、やや増加傾向。
- ・売上高は、前年対比415万円減、93.5%の売り上げ。
- ・売上高から販売管理費を差し引いた当期営業損失は、1,076万1千円となり昨年対比671万円程度の損失増となっている。
- ・補助金収入により、当期純利益24万5千円を確保できた。当期末の繰越利益剰余金は1,226万5千円となった。

㈱帝釈峽スコラ



- ・株式総数、町保有株数、株式額面、役員の変更はなし。
- ・スコラ高原の利用客は、昨年対比124.2%増の81,274人と大幅に増加している。
- ・総売上高の大幅増加部門は、「宿泊施設利用料」前年対比246.7%増の1,132万円。
- ・この数年コロナ禍で行っていなかったイベントも再開し114万円の売り上げを確保した。
- ・レトルト商品販売は、「楽天市場」で、「幻の神石牛カレー」と「神石高原ポーク」ギフトセットがリアルタイムランキングで1位を獲得
- ・利用客も回復しつつあるが、電気代や仕入れ価格の大幅高騰により、令和4年度の税引き前当期純損失が102万円となり、年度末繰越利益剰余金は513万8千円のマイナス決算となった。